

暖房器具の事故

事故の概要

【事例①】住宅から出火し、部屋の一部を焼いて1人が死亡した。

【事例②】居間付近から出火し、住宅を全焼して1人が死亡した。



カートリッジタンクから漏れた灯油が引火しました(再現実験)

事故の原因

【事例①】石油ストーブを消火せずにカートリッジタンクに給油したところ、カートリッジタンクのふた(ネジ式)の締め方が不完全だったため、セットしようとした際に漏れた灯油にストーブの火が引火したものです。

【事例②】電気ストーブのそばで眠っていたため、布団がヒーター部に近づいて着火したものです。



ふとんがストーブに触れた16分30秒後に着火しました(再現実験)



事故防止のために

- ◆布団やカーテン、新聞、雑誌など可燃物の近くで使用しないでください。
- ◆洗濯物等を器具の上に吊したり、乾かさないうでください。
- ◆就寝時は必ず火を消し、外出時は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ◆温風のあたるところにスプレー缶やカセットこんろ用ボンベを放置しないでください。
- ◆温風暖房機(ファンヒーター)は、温風の吹出口や吸気口ふさがないうでください。
- ◆ガスや石油を燃料とする器具は、必ず換気をしてください。

